

2023年1月19日

各位

会社名 ライフネット生命保険株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 亮介
(証券コード:7157 東証グロース市場)

IFRS(国際財務報告基準)勉強会資料の公表について

ライフネット生命保険株式会社 (URL:<https://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森亮介)は、2023年1月20日に、機関投資家・アナリスト向けに第3回IFRS(国際財務報告基準)17号「保険契約」に関する勉強会を実施する予定です。

当社は、財務報告において2023年度からIFRSの任意適用を目指しており、今年度においてIFRS17号「保険契約」に関する勉強会を実施しています。第3回の勉強会資料(以下、本勉強会資料)につきましては、フェア・ディスクロージャーの観点から、別紙のとおり公表します。

本勉強会資料は、今後、当社がIFRSの任意適用を開始して以降、当社の財務諸表をより円滑にご理解いただくための参考として公表しています。現時点においては、IFRSについて、当社は任意適用することを正式に決定しておらず、また、本勉強会資料に記載の数値はすべて会計監査前であるため、今後変更となる可能性がある旨を十分にご理解のうえご覧ください。

第1回、第2回の勉強会資料は、当社株主・投資家情報ウェブサイトに掲載しています。また、別紙の本勉強会資料につきましても、同ウェブサイトに掲載します。

■株主・投資家情報ウェブサイト

IFRS 勉強会資料

<https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/library/material.html>

ライフネット生命について URL: <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>

当社は、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスを提供することで、お客さま一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念のもと、インターネットを主な販売チャネルとする生命保険会社です。デジタルテクノロジーを活用しながら、保険相談、お申し込みから保険金等のお支払いまで、一貫してお客さまの視点に立った商品・サービスの提供を実現するとともに、オンライン生保市場の拡大を力強く牽引するリーディングカンパニーを目指します。

会社及び商品の詳細は <https://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。
株主・投資家向けの情報は <https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先
経営企画部 03-5216-7900

証券コード：7157



IFRS17号「保険契約」 勉強会（第3回）

LIFENET

LIFENET INSURANCE COMPANY

ライフネット生命保険株式会社

2023年1月20日

限定事項

- ご説明する情報は、生命保険会社に係る法定会計および国際財務報告基準（IFRS）に関する当社の現段階における解釈と見解に基づいています。
- 業界他社、その他の関係者は異なる解釈と見解を持つ可能性があります。
- 本資料では、理解の容易性のため、一部、実際の会計基準等と異なる表現を使用しています。

注意事項

- 本資料では、来期以降の当社の財務諸表をより円滑にご理解いただくための参考として、当社の開始BSに関する数値をご説明していますが、以下の点を十分にご理解のうえご覧ください。
 - ✓ **現時点において、IFRSの正式導入は未決定**
 - ✓ **数値はすべて会計監査前
(よって、変更となる可能性があります)**

目次

1. 本勉強会について
 2. 今回ご説明すること
 3. IFRSの損益計算書構成
 4. 遡及計算の範囲について
 5. IFRS17号 遡及計算 保険サービス損益
 6. IFRS17号 保険サービス損益の増減
 7. IFRS17号 遡及計算 CSM異動表
 8. IFRS17号 保険負債（再掲）
 9. 開始BS（保険負債）
 10. 開始BS（全体）
 11. マイナスの保険負債（例示）
 12. EVとIFRS資本の比較
 13. 今後の重要指標：EVとIFRS利益（再掲）
 14. IFRS17号の適用スケジュール
- Appendix

1. 本勉強会について

■ 目的

当社の2023年度のIFRSの任意適用に先立ち、
IFRS17号の重要なポイントについて説明

➡ 新たな財務諸表・財務分析のご説明に円滑に移行

(注) 当社の具体的な業績予想等についてご説明するものではありません

■ スケジュール

	テーマ	開催時期
第1回	IFRS17号の基礎 ・ IFRS導入の背景・意義 ・ IFRS17号 損益のポイント・CSM（契約サービス マージン）の重要性	2022年7月5日
第2回	IFRS17号における財務分析 ・ 利益・財務指標・CSMの増減等の分析	2022年10月14日
第3回	IFRS17号 開始BS ・ 保険サービス損益の遡及計算 ・ 開始BS（保険負債および全体）	2023年1月20日

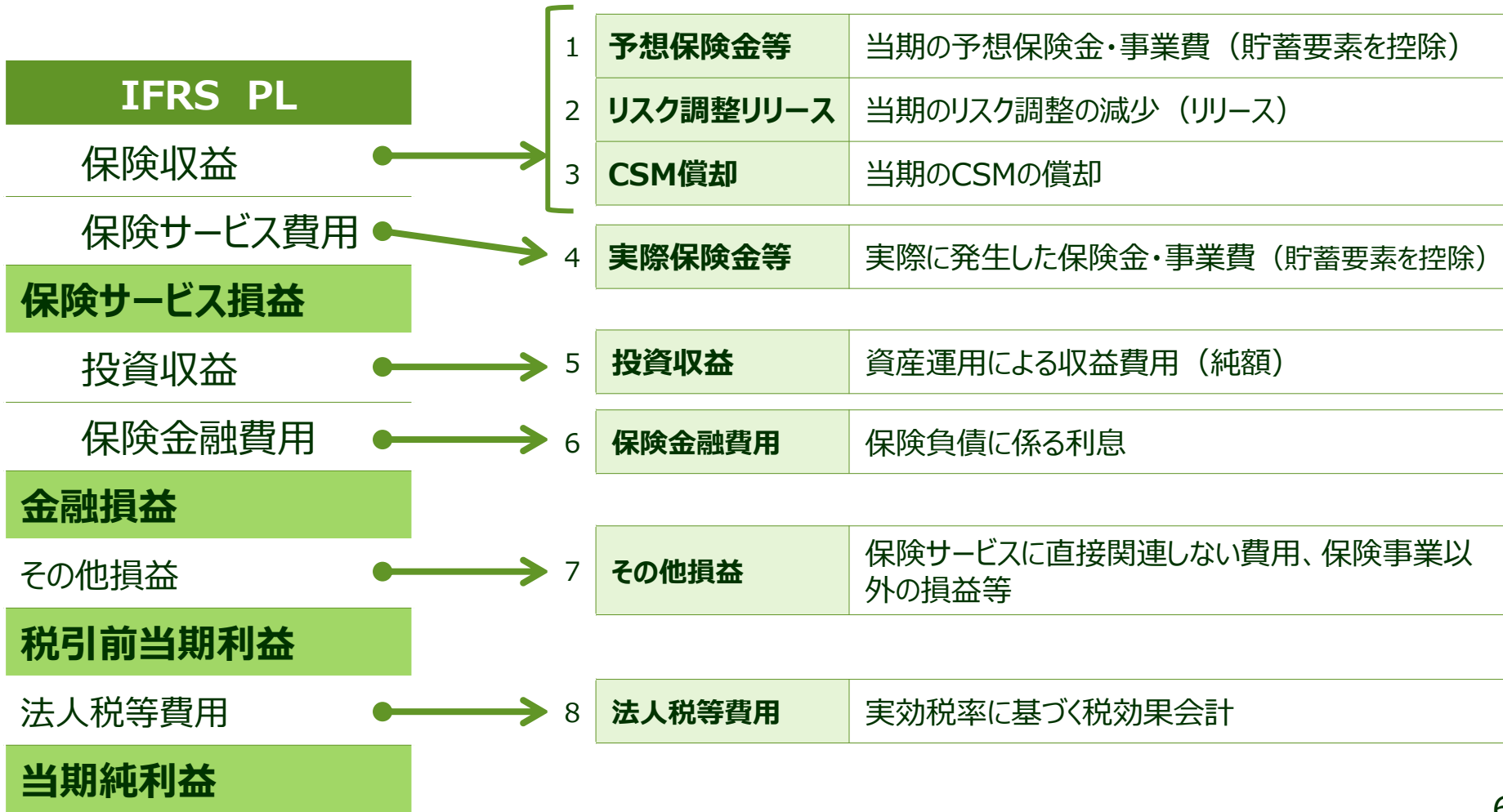
2. 今回ご説明すること

- 遡及計算を行い、2022年度の開始BS（会計監査前）を作成
- 損益計算書 (P/L) : 2020年度と2021年度の**保険サービス損益**を説明
 - ・ 金融損益、その他の損益、法人税等費用は**遡及計算の対象外**
 - ・ 実際には、**法人税等費用が税引後当期利益に反映されることに留意**
- 貸借対照表 (B/S) : 2022年度開始BSを説明
 - ・ **当社保障性商品の性質より、保険契約資産を計上（保険負債がマイナス）**



3. IFRSの損益計算書構成

- 保険収益は、保険料そのものではなく保険負債からのリリース
- 保険サービス損益は、保険金等の予想と実際の差額、リスク調整リリース、CSM償却に分解
- 保険サービス損益と金融損益は、利益の源泉に対応し分析しやすい



4. 遡及計算の範囲について

- 2022年度開始BSの保険負債は、保険サービス損益を遡及計算することで計算される

	科目/年度	2008	2009	...	2020	2021	2022	2023
P/L	保険サービス損益		開始BS作成のため、開業時に遡及して算出					
	金融損益							
	その他損益							
	税引前当期利益		遡及計算はしない					
	当期純利益							
B/S						2022.4.1 開始BS		

2023年5月に業績予想に関連して一部開示(予定)

本資料で
ご説明する計算
結果の範囲

5. IFRS17号 遡及計算 保険サービス損益



■ 保険サービス損益の計算結果（PL様式）

単位：億円

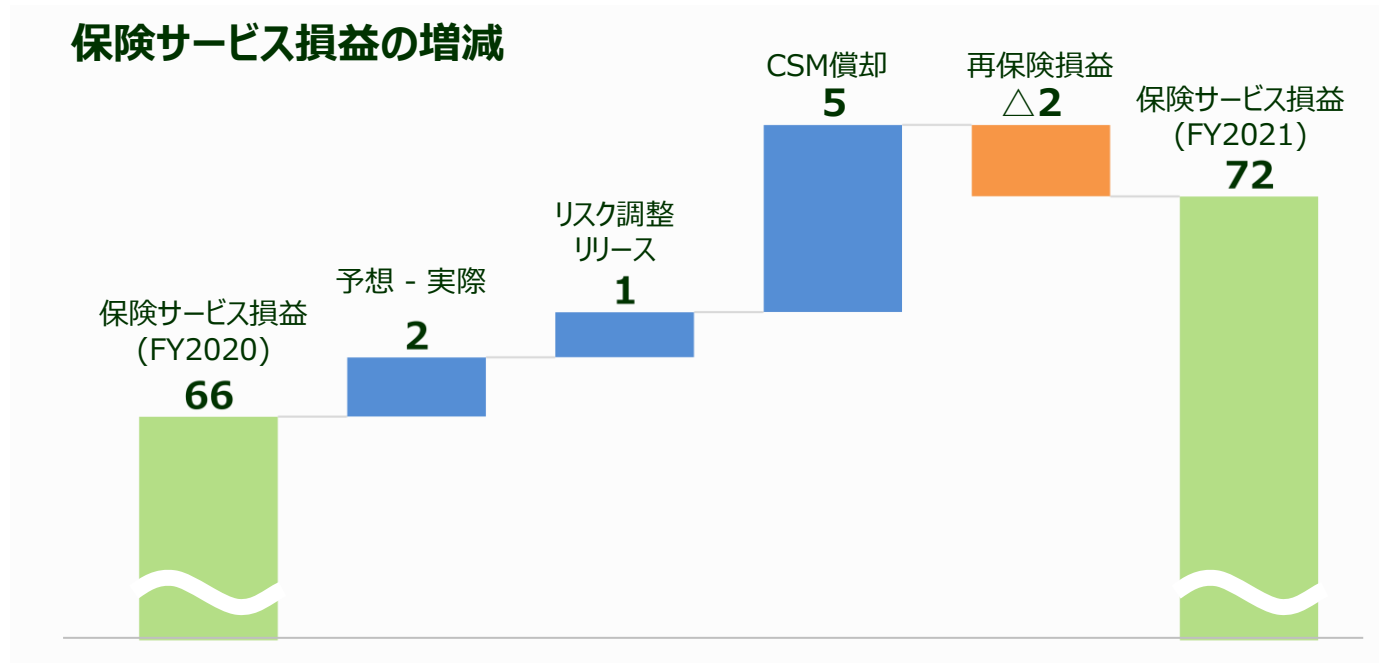
	項目	FY2020	FY2021
1	保険収益	152	180
2	予想保険金等	63	79
3	リスク調整リリース	15	16
4	CSM償却	52	58
5	保険獲得CFの回収	22	27
6	保険サービス費用	85	104
7	実績保険金等	63	77
8	保険獲得CFの償却	22	27
9	再保険損益	△1	△3
10	保険サービス損益	66	72

6. IFRS17号 保険サービス損益の増減

■ CSM償却が保険サービス損益の主な源泉となる

単位：億円

	項目	FY2020	FY2021	増減
1	予想保険金等 - 実績保険金等	0	2	2
2	リスク調整リリース	15	16	1
3	CSM償却	52	58	5
4	再保険損益	△1	△3	△2
5	保険サービス損益	66	72	6



7. IFRS17号 遡及計算 CSM異動表

- CSMの成長に伴い、CSM償却（収益）は増加する
- 主に、新契約CSMと前提変更等による調整がCSMの増加に寄与

単位：億円

	項目	FY2020	FY2021
1	期始 CSM	551	657
2	新契約CSM	89	77
3	利息による増加	6	6
4	前提変更等による調整	64	66
5	CSM償却	△52	△58
6	期末 CSM	657	749

（参考）EVの増加要因

※ EVは税引後の概念であることに留意

単位：億円

	項目	FY2020	FY2021
	新契約価値	58	47
	前提変更等による影響	39	47

8. IFRS17号 保険負債（再掲）

IFRS 貸借対照表



※上の図はIFRS17号の一般モデルに対する説明です

保険負債の3つの構成部分

- **将来CF現価：**
将来の支出（保険金等）の現価から将来の収入（保険料）の現価を控除した金額
- **リスク調整：**
将来CFの不確実性への備え
- **CSM：**
「将来利益を表す負債」で、保険期間の経過とともに償却され利益となる

IFRS17号の移行時（またはIFRSの導入時）には、原則として、保有契約に対して、新契約時に遡って保険負債が計算される

9. 開始BS（保険負債）

- 将来CF現価は、将来の保険料収入が将来の保険金支出を上回り、マイナスとなる
- 将来の利益の源泉であるCSMは749億円

IFRS 貸借対照表

資産	負債	
	保険負債	将来CF現価
		リスク調整
		CSM
資本		

単位：億円

IFRS 保険負債（2022.4.1）	
将来CF現価 (保険金等－保険料)	△1,288
リスク調整	320
CSM	749
保険負債※ 合計	△219

※元受契約のみ

マイナスなので、
保険契約資産に計上

(参考) 日本基準 保険契約準備金
435億円 (2022.3.31)

10. 開始BS（全体）

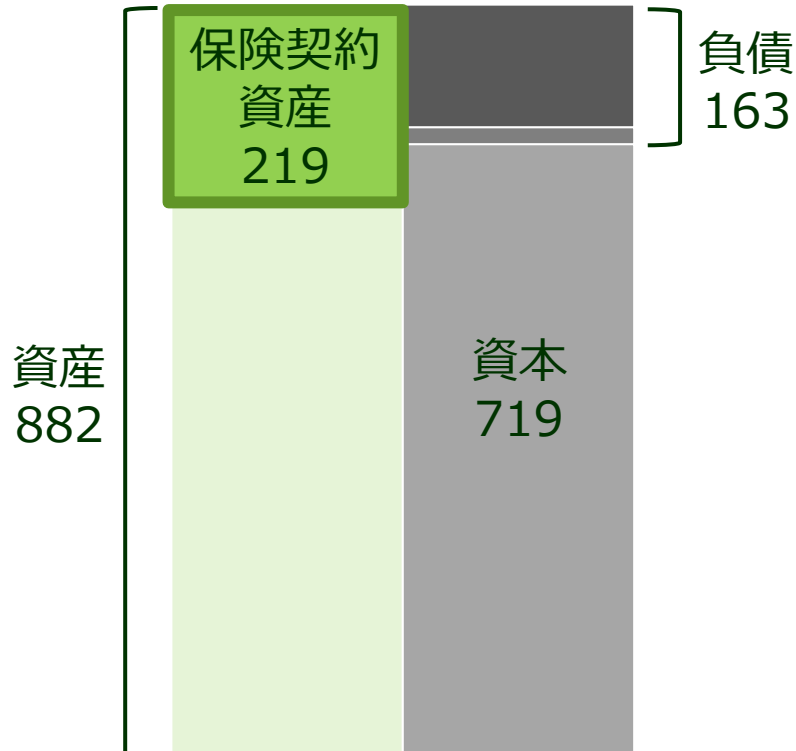


LIFENET

- 日本基準の保険契約準備金（負債）に代わり、IFRSでは保険契約資産を計上
- これらの差に対応する税務上の一時差異がIFRSの繰延税金負債に含まれる

当社の開始BS

単位：億円



IFRS 開始BS（2022.4.1）	
保険契約資産	219
資産（上記以外）	663
資産 合計	882
繰延税金負債	144
負債（上記以外）	20
負債 合計	163
資本 合計	719

（参考）日本基準 純資産
221億円（2022.3.31）

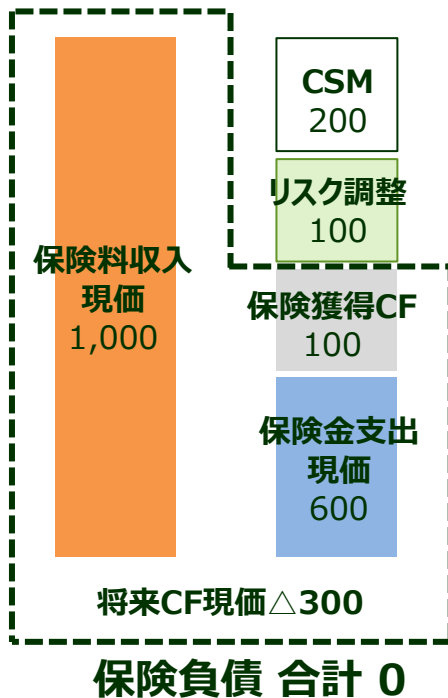
11. マイナスの保険負債（例示）

- 当社の平準払・保障性商品（特に無解約返戻金）では、保険負債がマイナスになる傾向

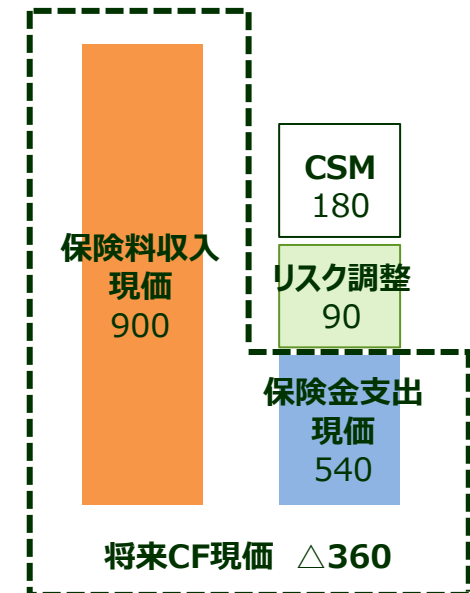
(1) 予想CF

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	合計
保険料収入	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000
保険金支出	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	600
保険獲得CF	100										100

(2) 初期測定（契約時）



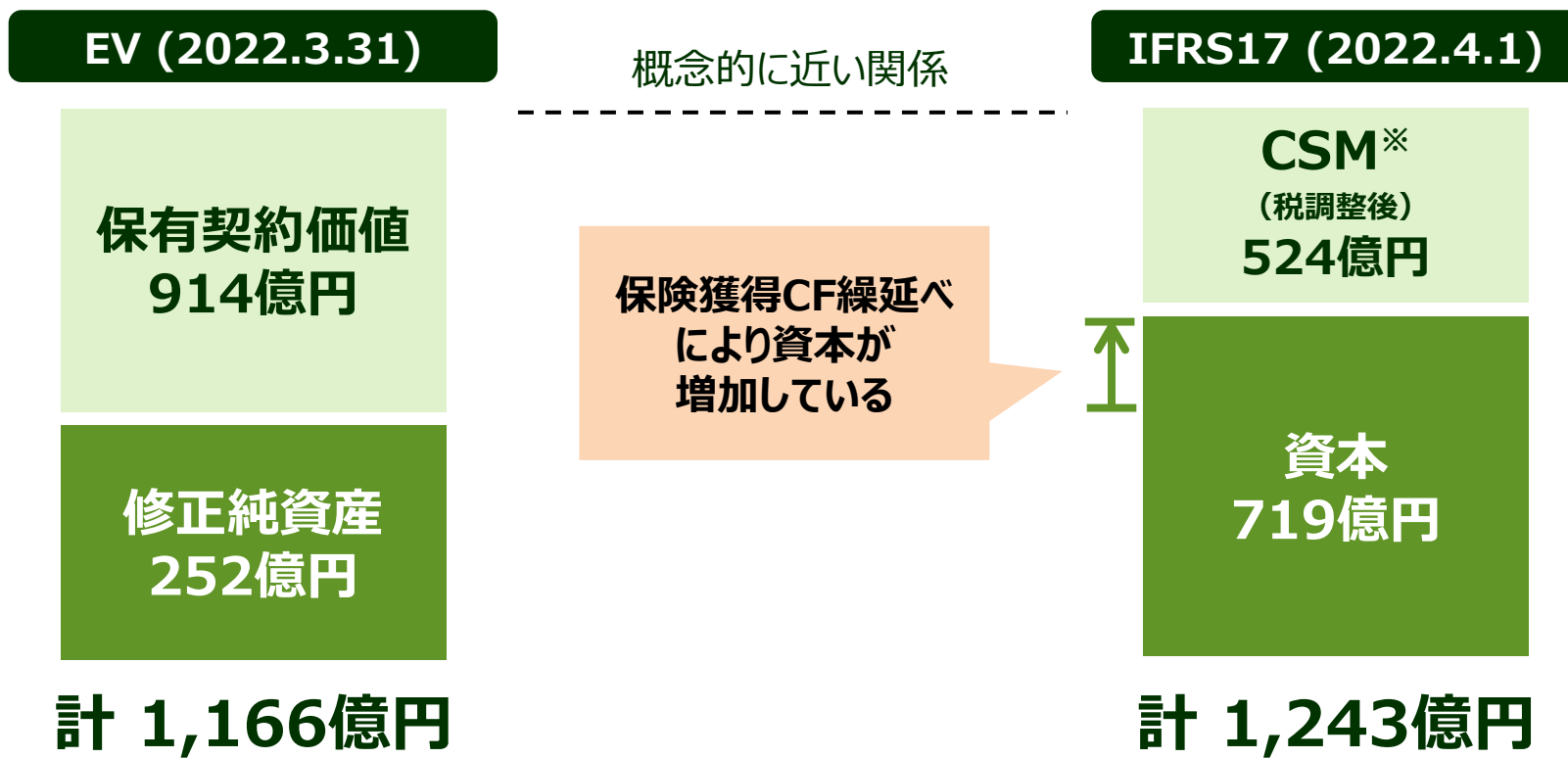
(3) 事後測定（1年度末）



保険負債 合計 △90 (→資産となる)

12. EVとIFRS資本の比較

- IFRS資本にCSM（税調整後）を加えた金額は、EVに近い金額となっている



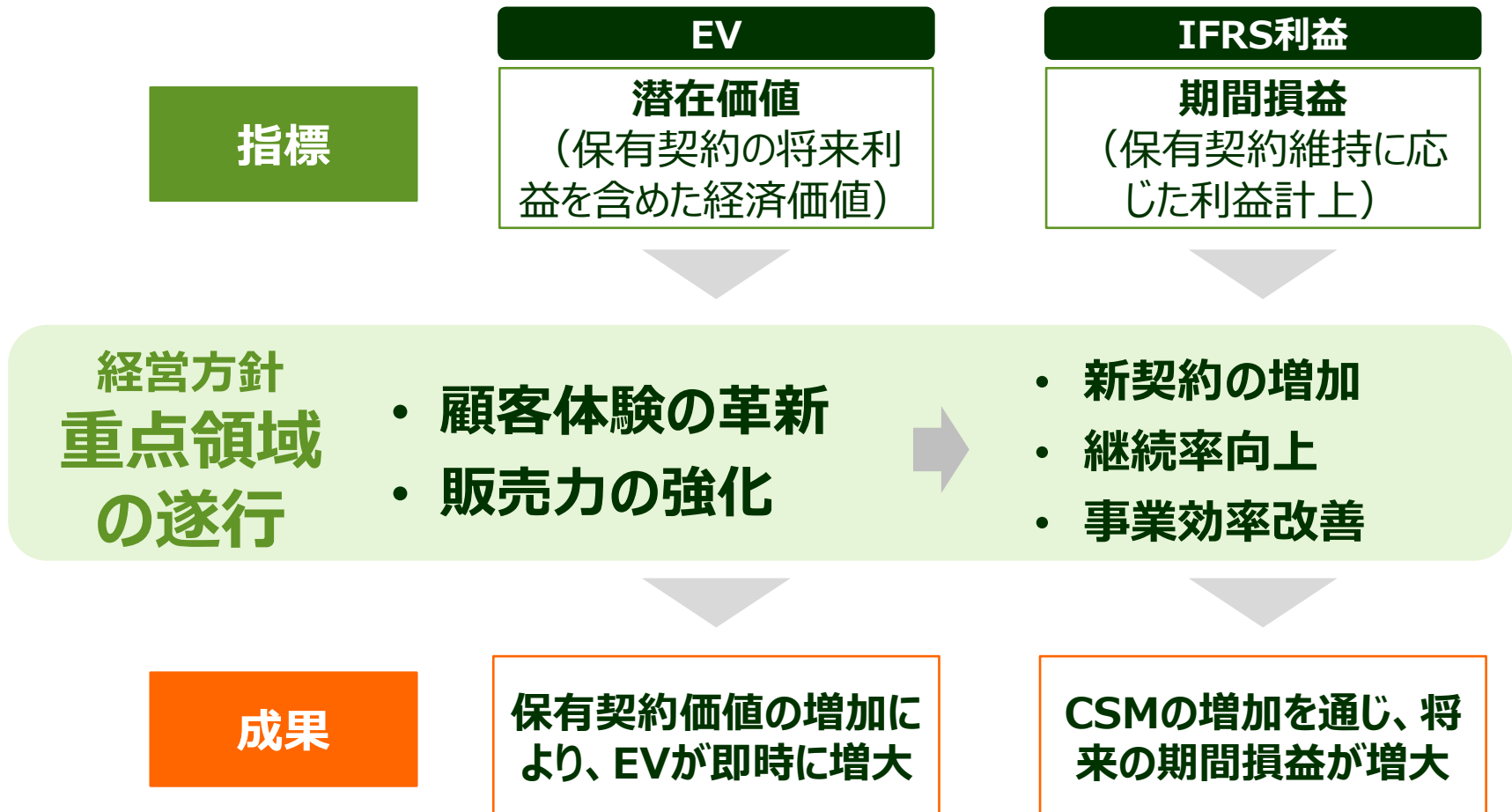
※ CSMには再保険のCSMを含みます

13. 今後の重要指標：EVとIFRS利益（再掲）



LIFENET

- EVとIFRSは経営努力の結果が反映される複眼的にみるべき重要指標と位置づけ



14. IFRS17号の適用スケジュール

5月
2021年度決算発表
✓ 2023年度任意適用
を目指すことを発表

5月
2022年度決算発表
✓ IFRSの下で業績
予想を開示（予定）

5月
2023年度決算発表
✓ IFRS任意適用決算発表
（予定）

2022年度

2023年度

2024年度

下半期
✓ 任意適用を社内決議（予定）

Appendix



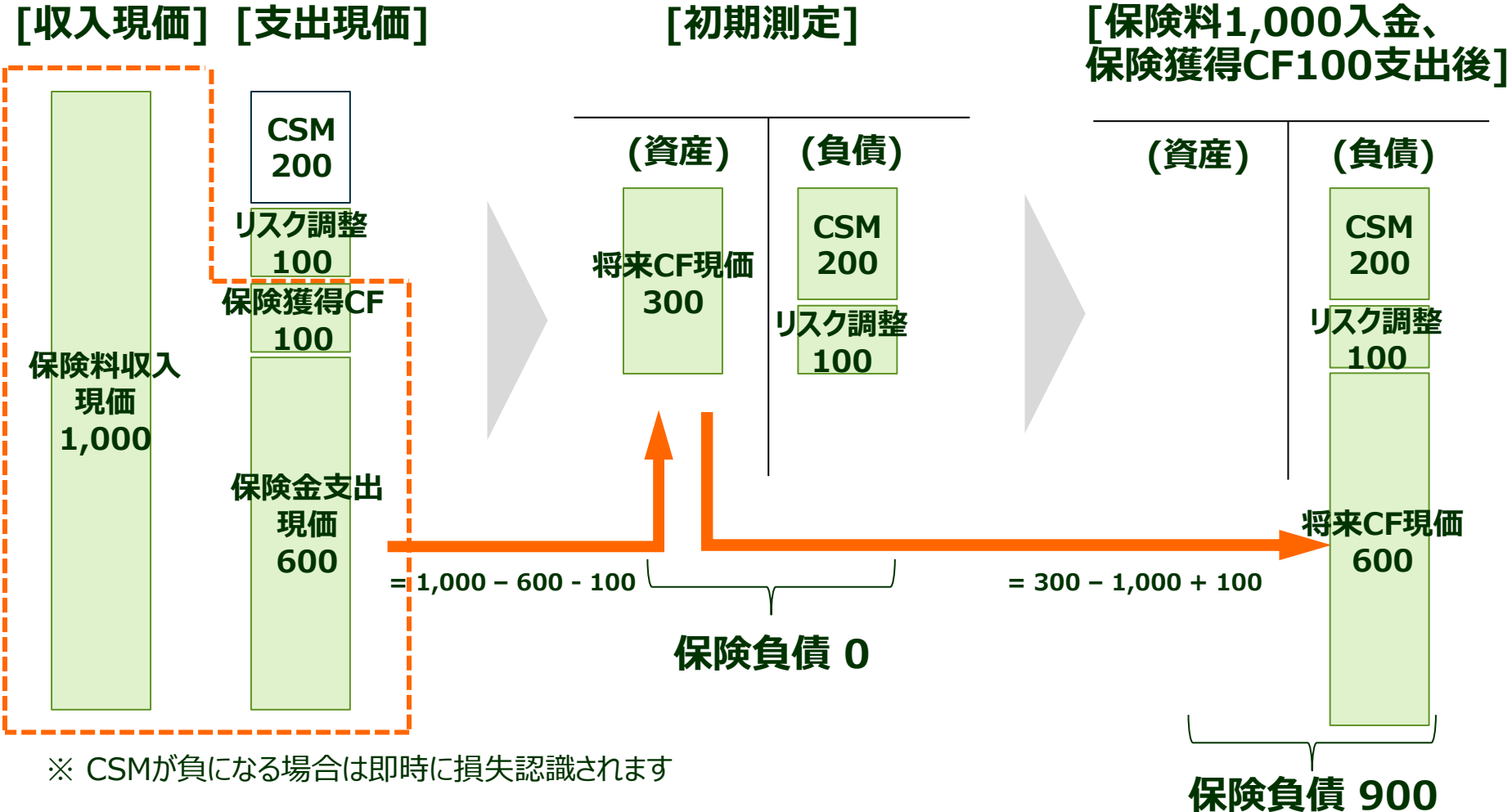
LIFENET

LIFENET INSURANCE COMPANY

IFRS17号 保険負債（当初認識）

例) 保険料一時払契約（保険料1,000）

数値は例示



IFRS17号 保険負債（事後測定）

- 保険前提およびリスク係数の変更の影響はCSMで調整
- 割引率の変更の影響はCSMで調整しない



将来の保険サービス
損益が平準化される

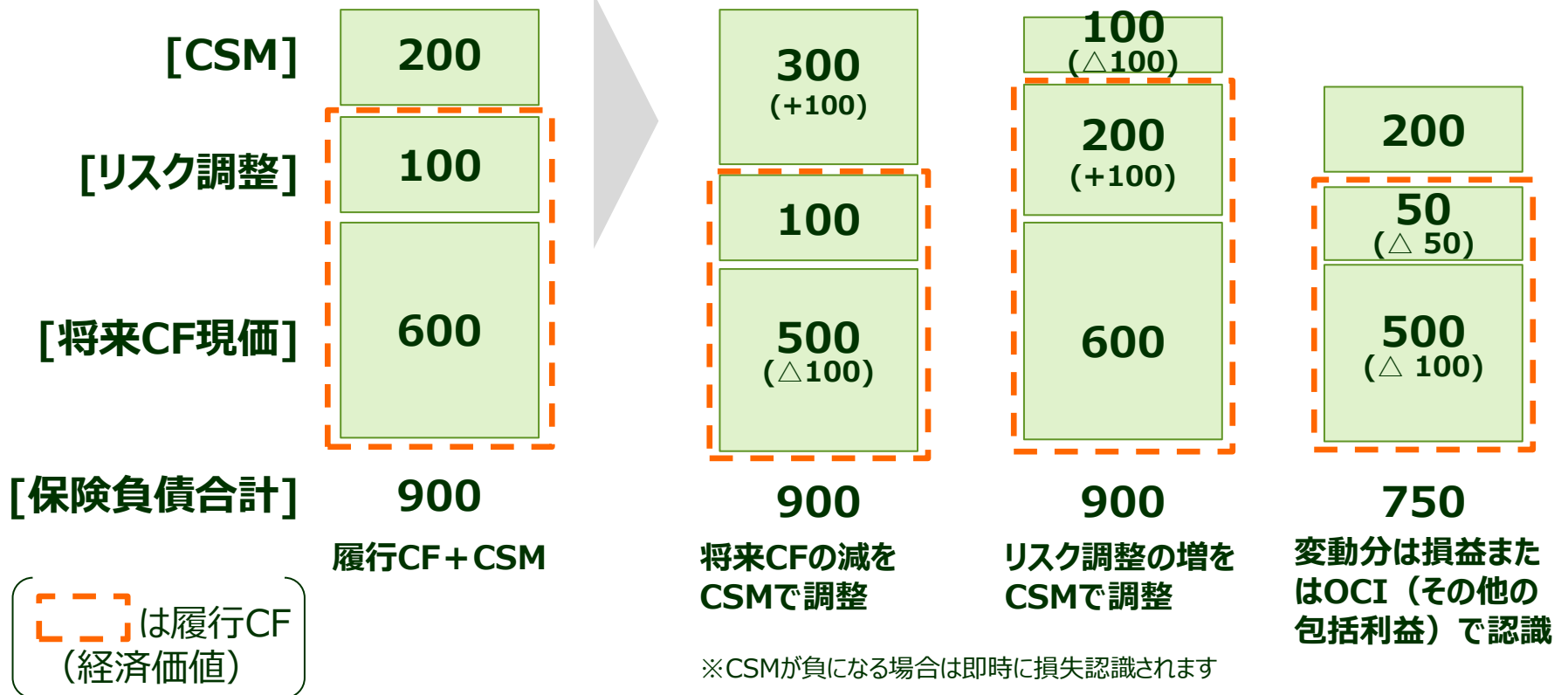
数値は例示

前提変更前

① 死亡率前提
引下げ

② リスク係数
引上げ

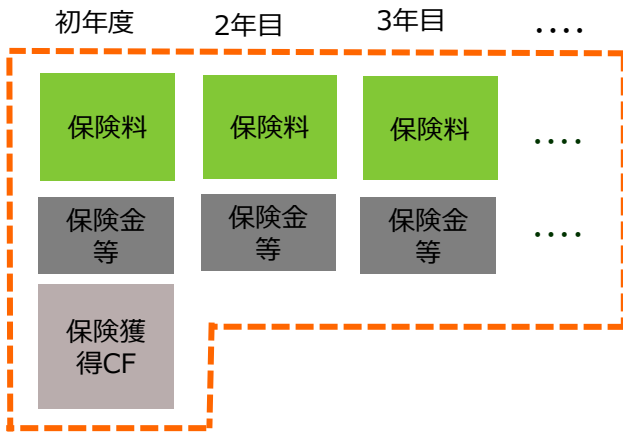
③ 金利（割引率）
上昇



CSMによる収益認識

新契約 将来の予想CF

経験に基づく最善前提で計算

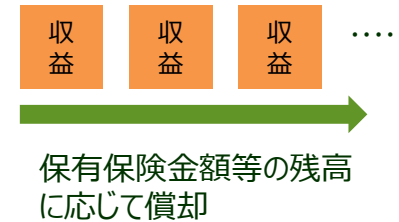


CSM

現在価値



CSMを保険期間にわたり
収益として配分（償却）



※ CSMが負になる場合は即時に損失認識となります

CSMの増大（= 将来利益の成長）に重要なこと

- 収益性の高い新契約の獲得
- 保険金・事業費の良好な経験に基づく前提アップデート

保険契約群団の獲得増加に直接起因するコスト

- 新契約の増加によって増えているコスト
- コストを増加させることによって新契約が増加するコスト

具体例

実際に保険獲得CFに該当するかどうかは、個別具体的な判断が必要であることに留意

- ✓ 募集手数料（営業職員給与、代理店手数料等）
- ✓ 新契約獲得・締結・引受の業務に係る人件費・物件費
- ✓ 保険商品に関する広告費用等



【IFRS 保険負債】

単位：億円

IFRS 保険負債（2022.4.1）	
将来CF現価（保険金等－保険料）	△ 1,288
リスク調整	320
CSM	749
保険負債※ 合計	△ 219

※元受契約のみ

マイナスなので、
保険契約資産に計上

【日本基準 保険契約準備金】

単位：億円

法定会計 保険契約準備金（2022.3.31）	
責任準備金	426
支払備金	10
保険契約準備金 合計	435

開始BS 日本基準との比較

単位：億円

IFRS 開始BS (2022.4.1)

保険契約資産 219

再保険契約資産 9

資産（上記以外） 654

資産 合計 882

繰延税金負債 144

負債（上記以外） 20

負債 合計 163

資本 合計 719

単位：億円

日本基準 期末BS (2022.3.31)

再保険貸 39

資産（上記以外） 639

資産の部 合計 678

保険契約準備金 435

繰延税金負債 3

負債（上記以外） 19

負債の部 合計 457

純資産の部 合計 221